

医療行動科学6

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学習目標 (G I O)	<p>医療は、単に疾患だけを診るのではなく、生物・心理・社会的存在として、ひとりの人間としての患者を理解し、治療にあたる全人的医療の必要性が今日求められている。また、治療の対象は慢性疾患や生活習慣病の治療と予防が主となり、患者のライフサイクルに応じたセルフケア重視へと移行しつつある。</p> <p>医療は患者と医療者が協働する時代といわれ、“patient-centered medicine”を意識した医師中心、患者中心を越えた第3の枠組みとして“relationship-centered care”という概念が提示された。“relationship-centered care”とは、様々な「関係」を中心にヘルスケアを構築するという考え方である。(宮田靖志/北海道大学病院)</p> <p>患者の視点からみた病院の診療システム、来院した初診患者の心情、医療者スタッフの態度等、患者-医療者関係についてより深く考え、自らの行動指針を整理・決定する。さらに、本講義において附属病院で「患者付添実習」を通して実際に患者や医療者と接触することで、臨床歯科医学へ興味と勉学への意欲を高める。</p>
担当教員	伊藤 孝訓、和田 守康、河相 安彦、多田 充裕、内田 貴之、※大山 篤
教科書	講義内容に関連した資料を配布する
参考図書	「人間学入門」 日本医学教育学会 南山堂 「患者と医師のコミュニケーション」 石川ひろの、武田裕子 篠原出版新社 その他随時紹介する。
実習器材	SGD はノートパソコンを使用するので、班ごとに用意すること
評価方法 (E V)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、制作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価(最終評価)する。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の1/5 以上を欠席した場合、成績評価は0 ~ 60 点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	附属病院の患者付添実習を通して医療について深く考えてみましょう。実習はH27. 1. 7に実施しますので、体調管理等に気を付けて下さい。 E-mail (shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/29 (月) 1時限 09:00~10:30	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、3年次で患者と接触することで患者の心情を理解修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 授業の進め方、評価について説明できる。 2. 医療者の患者に接する適切な態度を説明できる。 3. 病院における患者の心情について説明できる。 4. 患者満足度に関わる要因について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科治療の社会的特性について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。</p>	伊藤 孝訓
2014/10/06 (月) 1時限 09:00~10:30	コミュニケーション・トレーニング (1)	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者との有効なコミュニケーション能力を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 患者に対する適切な態度を説明できる。 2. コミュニケーションの役割を説明できる。 3. メタコミュニケーションを説明できる。 4. 直接的、間接的の会話を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 コミュニケーションを説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	大山 篤

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/06 (月) 1時限 09:00～10:30	コミュニケーション・トレーニング (1)	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	大山 篤
2014/10/20 (月) 1時限 09:00～10:30	コミュニケーション・トレーニング (2) ①第一印象 ②メッセージの不一致 ③あなたが受けた医療体験	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者との有効なコミュニケーション能力を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 患者が望む歯科学生の姿を説明できる。 2. 正しい言葉遣いと挨拶ができる。 3. 第一印象が他人に与える影響を説明できる。 4. 言語・非言語・準言語コミュニケーションをできる。 5. 患者が抱く安心感への配慮ができる。 6. 患者のプライバシーへの配慮ができる。</p> <p>【準備学習項目】 患者に対する適切な態度を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/10/27 (月) 1時限 09:00～10:30	コミュニケーション・トレーニング (3) ④同情と共感の違い ⑤指導と援助の違い ⑥価値観	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者との有効なコミュニケーション能力を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 患者と医療者の立ち位置を説明できる。 2. 望ましい対人関係能力を概説できる。 3. 指導と援助の違いを説明できる。 4. 価値観の違いの存在を説明できる。 5. 上手な傾聴の仕方、質問の仕方を実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 患者に対する適切な態度を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/11/10 (月) 1時限 09:00～10:30	体験学習前教育(1) 付添添定ロールプレイ ーシナリオ作成ー	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、有効な対人行動能力を理解修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 患者の望む歯科学生の姿を説明できる。 2. 挨拶ができる。</p>	伊藤 孝訓 内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/10 (月) 1時限 09:00～10:30	体験学習前教育(1) 付添想定ロールプレイ ーシナリオ作成ー	3. 正しい言葉遣いができる。 4. 患者の抱く安心感への配慮ができる。 5. 患者のプライバシーへの配慮ができる。 6. 患者とのコミュニケーションができる。 【準備学習項目】 患者に対する適切な態度を説明できる 【学習場所・媒体等】 SGDとロールプレイ 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/11/17 (月) 1時限 09:00～10:30	体験学習前教育(2) 付添想定ロールプレイ ーシナリオ作成ー	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、有効な対人行動能力を理解修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 患者の望む歯科学生の姿を説明できる。 2. 挨拶ができる。 3. 正しい言葉遣いができる。 4. 患者の抱く安心感への配慮ができる。 5. 患者のプライバシーへの配慮ができる。 6. 患者とのコミュニケーションができる。 【準備学習項目】 患者に対する適切な態度を説明できる。 【学習場所・媒体等】 SGDとロールプレイ 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/12/01 (月) 1時限 09:00～10:30	体験学習前教育(3) 付添想定ロールプレイ ーロールプレイ発表ー	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、有効な対人行動能力を理解修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 患者の望む歯科学生の姿を説明できる。 2. 挨拶ができる。 3. 正しい言葉遣いができる。 4. 患者の抱く安心感への配慮ができる。 5. 患者のプライバシーへの配慮ができる。 6. 患者とのコミュニケーションができる。 【準備学習項目】 患者に対する適切な態度を説明できる。 【学習場所・媒体等】 SGDと発表 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム	伊藤 孝訓 内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/01 (月) 1時限 09:00～10:30	体験学習前教育(3) 付添想定ロールプレイ ーロールプレイ発表ー	イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/12/08 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験 1	【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 301教室	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/12/15 (月) 1時限 09:00～10:30	付属病院 (ソフト面)	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を实践するために、付属病院におけるスタッフやソフトウェアに関する知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 付属病院の診療システムを説明できる。 2. 来院患者の動態を説明できる。 3. 歯科医療に関わる専門職を説明できる。 【準備学習項目】 歯科医療の構造を概説できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	和田 守康
2014/12/22 (月) 1時限 09:00～10:30	付属病院 (ハード面)	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を实践するために、付属病院における各種診療室・検査室等の配置構造に関する知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 付属病院の配置図を説明できる。 2. 患者の流れを説明できる。 3. 歯科医療に関わる専門職を説明できる。 【準備学習項目】 病院コンポーネント、配置を説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	内田 貴之
2014/12/25 (木) 1時限 09:00～10:30	休講1 振替日：平成27年 1月7日(水) 9:00-16:10 患者付添実習と振り返り	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を实践するために、患者付添実習を通して“patient-centered medicine”の考えを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 医療系大学生として具有すべきマナーや態度を实践できる。 2. 口腔疾患に悩む患者の気持ちを理解できる。 3. よき歯科医となるべき勉強する動機付けに役立てることができる。 4. 医療現場におけるコミュニケーション力の重要性を理解できる。 5. 患者と共に大学病院の外来診療システムをみて、受診上の利点や問題点を知ることができる。 6. KJ法を用いて、問題点をまとめることができる。 【準備学習項目】 1. 付属病院の配置図を説明できる。 2. 患者の流れを説明できる。	伊藤 孝訓 和田 守康 河相 安彦 多田 充裕 内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/25 (木) 1時限 09:00～10:30	休講1 振替日：平成27年 1月7日(水) 9:00-16:10 患者付添実習と振 り返り	3. 歯科医療に関わる専門職を説明できる。 4. 適切な患者対応について説明できる。 【学習場所・媒体等】 付添実習：付属病院 S G D (K J法によるまとめ)：第2実習室 【学習方略 (L S)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 付属病院、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 和田 守康 河相 安彦 多田 充裕 内田 貴之
2015/01/19 (月) 1時限 09:00～10:30	医療行動科学5と 6の振り返り	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療行動科学5・6を振り返り、対人関係能力を修得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 医療行動科学5と6で学んだ内容について説明できる。 2. relationship-centered careについて説明できる。 3. 患者の個別性や価値観について説明できる。 4. 体験から得た知識を自分の行動に生かすことができる。 【準備学習項目】 病院実習で得た知識を説明できる。 【学習場所・媒体等】 S G D 【学習方略 (L S)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2015/01/26 (月) 1時限 09:00～10:30	患者付添実習のま とめ	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者付添実習、医療行動科学5・6のまとめを行い、対人関係能力を修得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 患者付添実習について説明できる。 2. relationship-centered careについて説明できる。 3. 患者の個別性や価値観について説明できる。 4. 体験から得た知識を自分の行動に生かすことができる。 【準備学習項目】 病院実習で得た知識を説明できる。 【学習場所・媒体等】 S G Dと発表 【学習方略 (L S)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項	伊藤 孝訓 内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/26 (月) 1時限 09:00～10:30	患者付添実習のまとめ	A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2015/02/02 (月) 1時限 09:00～10:30	休講2 振替日：平成27年 1月7日(水) 9:00-16:10 患者付添実習と振り返り	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者付添実習を通して“patient-centered medicine”の考えを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 医療系大学生として具有すべきマナーや態度を実践できる。 2. 口腔疾患に悩む患者の気持ちを理解できる。 3. よき歯科医となるべき勉強する動機付けに役立てることができる。 4. 医療現場におけるコミュニケーション力の重要性を理解できる。 5. 患者と共に大学病院の外来診療システムをみて、受診上の利点や問題点を知ることができる。 6. KJ法を用いて、問題点をまとめることができる。 【準備学習項目】 1. 付属病院の配置図を説明できる。 2. 患者の流れを説明できる。 3. 歯科医療に関わる専門職を説明できる。 4. 適切な患者対応について説明できる。 【学習場所・媒体等】 付添実習：付属病院 SGD(KJ法によるまとめ)：第2実習室 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 付属病院、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 和田 守康 河相 安彦 多田 充裕 内田 貴之
2015/02/05 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験2	【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 301教室	伊藤 孝訓 内田 貴之
2015/02/09 (月) 1時限 09:00～10:30	まとめ	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者付添実習を通して“patient-centered medicine”の考えを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 医療コミュニケーションの患者背景を説明できる。 2. 医療現場におけるコミュニケーション力の重要性を理解できる。 3. 心理に基づく患者-医療者行動を説明できる。 【準備学習項目】 医療行動科学5とこれまでの医療行動科学6の講義を説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *①患者との信頼関係を築くことができる。 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之